



シルバー がさま

第23号

平成30年7月20日

発行 (公社)笠間市シルバー人材センター
編集 広報部会
住所 笠間市石井717
電話番号 0296-73-0373



平成30年度 定時総会開催

シルバー人材センターの「基本理念」
自主……センターを私達のものとして考えます。
自立……センターを私達の力で育てます。
共働……私達はいつも一緒に働きます。
共助……私達は互いに助け合います。

定時総会報告

日時 平成三十年六月十六日(土)
午後一時三十分から午後二時四十一分

会場 笠間市立友部公民館大ホール

出席者 総数三二八名(総会当日現在)

出席者 出席一〇〇名 委任状一四六名

来賓 山口伸樹市長・海老澤勝笠間市議会議長
常井洋治茨城県議会副議長・村上典男茨城県
議會議員

議長 小野勝夫

議事録署名人 小野勝夫・磯護

報告事項

報告第一号 平成二十九年度公益社団法人笠間市シルバー
人材センター補正予算について

報告第二号 公益社団法人笠間市シルバー人材センター
配分金規約の改正について

報告第三号 平成三十年度公益社団法人笠間市シルバー
人材センター事業計画について

報告第四号 平成三十年度公益社団法人笠間市シルバー
人材センター収支予算について

報告第五号 平成二十九年度公益社団法人笠間市シルバー
人材センター事業報告について

決議事項

議案第一号 平成二十九年度公益社団法人笠間市シルバー
人材センター収支決算の承認について

監査報告

新しいお仕事開拓中!

平成30年度に入り新しい職種のご依頼が増えており、シルバー世代の底力を感じています。今後も市民の皆様から必要とされる「シルバー」を目指し頑張ります!



検尿キット封入作業



花によるまちづくり事業花苗配布作業



クレー放出操作



新会員大募集

皆様のお知り合いやお友達をシルバーの仲間としてご紹介下さい。
特に草取り・草刈・植木剪定の出来る方大歓迎です。

入会説明会日程表

実施日	会場
平成30年8月17日	シルバー会議室
平成30年9月21日	市民交流センターともあ
10月19日	社協岩間支所
11月16日	シルバー会議室
12月21日	市民交流センターともあ
平成31年1月18日	市民交流センターあたご
2月15日	シルバー会議室
3月15日	市民交流センターともあ
4月19日	市民交流センターあたご
5月17日	シルバー会議室

※入会説明会は、毎月第3金曜日午後2時から行います。

事前申し込みが必要ですのでお電話でご連絡の上ご参加下さい。

会場等に変更がある場合は、ホームページでお知らせします。

編集後記

先日、シルバー人材センター及び互助会の総会が、山口市長をはじめ多くのご来賓の方々のご出席をいただき実施されました。

総会終了後、笠間警察の交通課長による交通安全の講話があり、高齢者による死亡事故が増加傾向にあるなど、注意すべき点を説明していただきました。

そんな中、注目したのは「夕方早めの点灯」を励行して下さいとの話でした。自分の目では見えていても、対向車が見えにくく「はっ」とすることが時々あります。相手が見えることが大切になると思いますので、これからの暑さに向かって常に安全運転で乗り切りましょう。

広報委員 大木征四郎

永年表彰

シルバー人材センターでは、今年度より表彰規定を設け、会員として十五年以上在籍し、満七十五歳以上で、おおむね三年以上の就業経験があり、センターの事業発展に寄与し、会員としての業績が顕著であった方々を表彰することといたしました。今後も、これまで同様健康に留意され、更なるご活躍をご祈念申し上げます。

笠間地区

青木アイ子・赤上とき・安達美代子
入江通弘・川辺義重・木村文子
小西正・小林和夫・小南ふみ子
高沢一美・高丸文男・田口茂
中澤ちよ・仲田正・中村保
平山ふみ・森田良雄・米川茂

友部地区

斎藤正澄・鈴木寿男・竹本辰雄
田中陽子・根本武裕・松田和子

岩間地区

植木市郎・田山喜代乃・長谷川ふく
松田禮子・渡辺信子

(五十音順・敬称略)



永年表彰の皆さん



代表で賞状を受け取る田中陽子さん

交通安全講話

定時総会終了後、笠間警察署交通課長から「高齢者の交通安全」と題し交通安全講話を拝聴いたしました。

全国的に交通事故の件数は減少しておりますが、それに反し、高齢者による事故は年々増加しており、笠間市でも今年に入り、六月現在で三名の死亡事故が発生しているそうです。事故の原因を作っているのも高齢者であり、また「自分は大丈夫」という慢心が事故を生みます。機敏性や瞬発力、視力の低下など、認めたくはないけれど自覚する事が重要です。

事故に遭わない、起こさないためには、

- 一、身体機能の変化を自覚する
- 一、免許証返納の勇氣を持つ
- 二、夜間外出の際は、明るい服装の着用
- 二、夜間外出の際は、明るい反射材の有効活用



笠間警察署交通課鈴木健之課長

事故防止のための三原則

- 一、運転は「心と時間にゆとりを」
速度標識を意識した運転
- 二、歩行者に優しい運転
横断歩道を意識
日没三十分前にはライト点灯
- 三、飲酒運転をしない、させない

なかま



笠間地区

福田初江

会社を退職して、家でのんびり過ごそうと思っておりましたが、シルバー人材センターに入会し、現在は、茨城県狩猟者研修センターで働かせていただいております。以前よりも健康に気を遣うようになったり、皆様と会話をする機会も増え、とても充実した日を送ることが出来ております。

これからも、ご指導宜しくお願い致します。



笠間地区

石崎京一

私は、病院職員として定年まで働き、約三年のブランクを経て、今年の四月にシルバー人材センターの会員になりました。

まもなく仕事を紹介され、石寺にある茨城県狩猟者研修センターで働くことになりました。

仕事の内容は、クレール射撃(散弾銃を用いて発射された素焼きの皿を撃つスポーツ)で、私は、皿の当たり外れをボタンの操作で、電光掲示板に表示する作業を担当しています。仕事としては単純ではありますが、覚えての頃は、ボタン操作の押し間違いなど、お客様に迷惑をかけたり、逆に励まされたりしながら、お客様とのコミュニケーションを大切に、楽しく競技して



笠間地区

平賀俊一

いただく事を念頭に日々努力しております。趣味としては、読書と低登山を兼ねてのウォーキングで健康寿命を出来るだけ伸ばし、生涯現役を目標に頑張りたいと思います。

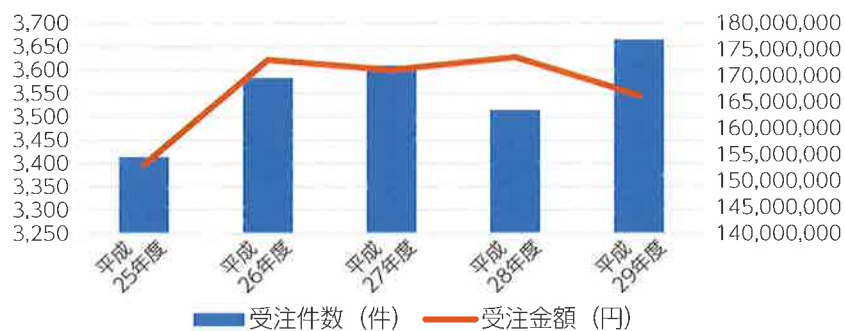
大袈裟に言えば、人の存在が砂粒ほどにもならないような百万都市の川崎で、つい二、三ヶ月前の八十一歳まで印章業を営んでいた。都会の、静けさのない便利で騒音と闇夜の忙しいうちから引退して笠間に移り住み、先ず何を感じたのか。私の場合は静かで緑深く木々にこだまするウグイスやキジの鳴き交わす声であり、虫の多さ、笹藪のすさまじさ、また街の静けさと人と車の少なさ等、この落差に落ち着かない自分がいました。

さて、この街で満足して過ごすには何が大切なのだろう。多分、喜び楽しみと常に感謝できる、ということなのか。思えば、早々に仕事を紹介して下さったセンターの皆様にも感謝している。女房にも感謝している。住む人達にも好感のもてる純朴さを感じている。

加えて望むなら、コーヒーとバッハの曲を聴き乍らひと時を過ごせるところがないものか。人材センターの中に交流の場ができ、高齢者の拠り所となるのを夢見ながら。乱文謝。

事業実績の推移

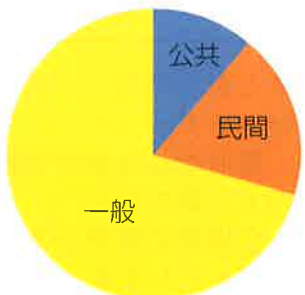
	受注件数(件)	受注金額(円)
平成25年度	3,414	153,108,845
平成26年度	3,583	173,030,900
平成27年度	3,609	171,096,350
平成28年度	3,514	173,519,812
平成29年度	3,665	166,326,453



平成29年度 発注者別事業実績

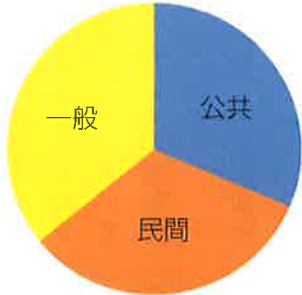
受注件数：4,187件

	件数(件)	構成率(%)
公共	471	11.2
民間	774	18.5
一般	2,942	70.3
合計	4,187	100.0



受注金額：166,326,453円

	件数(件)	構成率(%)
公共	52,589,105	31.6
民間	54,408,481	32.7
一般	59,328,867	35.7
合計	166,326,453	100.0



役員研修会を実施

平成三十年三月十二日(月)安全就業において先進的な取り組みをされ、平成二十九年度の茨城県シルバー人材センター連合会主催の安全・適正就業推進大会において、平成二十八年度無事故表彰を授与された、公益社団法人北茨城市シルバー人材センターを訪問いたしました。研修会では、双方の理事、安全就業委員会委員が出席、活発な意見交換が行われました。北茨城市シルバーでは、事故等が発生した場合、直ちに事故発生状況を班長を通し、班員に周知する体制をとり事故防止に努めるなど、学ぶ事の多い研修会でした。

